

時代背景

インド、中国で末法思想が生まれたが、わが国では古代国家の崩壊の進行に伴い社会・政治情勢の不安が広まった。

紀末から 世紀にかけ、摂関政治の行き詰まりと天災や疫病に脅かされていた貴族たちは、密教や陰陽道などの呪術にすがって現世利益を求めただけでは足りず、浄土信仰によっても日々の不安から解放されようと願った。こうした時代の風潮と相まって末法思想が広まっていった。

極楽へ行くための手っ取り早い方法は、この世に極楽を再現する

極楽へ行くためには「観無量寿経」では定善十三の観法がある。極楽世界の細部から思い浮かべ、目の前にありありと見えるまで修行せよ。そうすれば最終的には極楽の蓮華の中にいる自分が見えてくる。そのためには寝ても覚めても極楽が見

えるように訓練する必要がある。しかしそれでは時間がかかるのでこの世に極楽の世界を移してしまえばよいことになった。

近年の発掘により鳳凰堂は中島であり平橋、反橋をわたって行く事が分かってきた。

このように平橋と反橋がセットで設えた庭は平城京宮跡東院、毛越寺、称名寺などにある。

反橋のみの例では永保寺にあり、また苔寺、金閣寺、銀閣寺などにもあったことが分かっている。

極楽は海岸の洲浜に建っているものと見立てられた

